

開放型病院と連携し独

国内初の低侵襲治療専門クリニック

開放型病院との連携を前提に、IVR(低侵襲治療)をセールスポイントにした無床診療所が神戸市灘区に誕生した。この診療所は、元兵庫医科大放射線科助教授で、IVRを駆使した臨床腫瘍学領域を得意とする高安幸生氏が開いた「たかやすクリニック」。こうした形態でのIVR医の独立開業は、「国内初」(高安氏)という。IVR医の新たな開業形態として注目される。



高安幸生院長

●IVRの新たな開業形態

「たかやすクリニック」があるのは、JR六甲道駅前のビル。標榜科目は消化器科と放射線科。交通至便で、しかも同クリニックのいわば「入院部門」となる医療法人康雄会西病院(西島院長、116床、うち開放病床5床)とは、歩いてほんの2~3分の距離。高安氏は「以前勤務していた兵庫医大病院の外來から病棟までの半分の距離」

と笑う。

クリニックは、ほかの施設との電子情報交換を意識し、ヘリカルCTやエコーなどの画像はすべてDICOM規格でデジタル保存するほか、電子カルテも導入してペーパーレスの環境を整えた。

IVRの実施には、特殊で高額な設備や装置と入院設備のほか、医師、看護師、診療放射線技師などのスタッフが不可欠なため、IVR医の独立開業

は容易ではない。高安氏は、開業パターンを①契約した病院に出向き、依頼に応じてIVR手技を行う「技術提供型」②外來機能と病床をもつ専門病院を新設する「独立診療型」③既存病院をIVRに専門特化させる「専門特化型」④外來機能だけをもち、近隣の開放病床を利用する「開放病床利用型」—に分類する。

独立開業

● 開業コストは通常の診療所の倍以上

そのうえで今回の開業では、IVR医、臨床腫瘍医、さらに主治医として、患者に一貫した治療を行いたいという願望をかなえると同時に、開業時のリスクを軽減させる手段として④を選んだ。それでも、通常の診療所の新規開業に比べて、倍以上のコストがかかったという。

医療連携が不可欠になるなかで、開放病床を積極的に活用しようとする病院は多い。しかし、開業医が院内で診療することに対する病院スタッフの抵抗感や、入院が必要な患者を紹介だけですませてしまう開業医の意識が改革されないと、うまくいかない。

高安氏は、「患者が絡むことについては、病院スタッフにいうべきことは、逆に意見も聞きたい」と話し、両者間の絶対の信頼関係がないと開業

には踏み切れなかったと振り返る。お互いのメリットも不可欠だという。

高安氏は同病院の依頼で20年来、IVRを行っており、病院側のスタッフとは顔なじみを超えた信頼関係が築かれている。入院の必要な患者が発生した場合は、西病院の外来婦長との「ホットライン」でスケジュールを調整するだけだ。

● 相互にメリットある

同病院には、高安氏がセンター長を務める「康雄会西病院低侵襲治療センター」があり、最新鋭のデジタルアンギオグラフィシステム（定価2億数千万円）の導入が決まっている。高安氏は「西院長の英断によるもの」とし、3月中旬のシステム稼働に期待を寄せる。

一方、西院長は、「お互いがないものを補い合うことで、大病院並みの技術を提供できることになる。外部の医師による共同診療への抵抗感は全くない」と話し、特殊外来として設置していた画像診断・腫瘍外来の強化と同時に、開放病床の利用状態が違ってくるという。

IVR適応患者の入院は2泊3日型が多く、開放病床を計画的に利用すれば、5床でひと月50人程度に対応できる。高安氏を頼りに紹介されてくる患者もおり、病病連携の拡大のほか、在

院日数の短縮や病床稼働率の向上による経営基盤の安定化も期待する。

高安氏は西病院のほか、開放病床をもたない医療法人清和会笹生病院（兵庫県西宮市）とも連携し、外来診療やIVRを行っている。現在、患者4～5人がこれら連携先の病院に入院しているが、毎朝6時半に連携先病院の「回診」を終えてから自身のクリニックに向かうスタイルは、12月の開院以来変わっていない。

ただ、こうした形態での独立開業には課題もある。開業医が開放型病院でいくら診療を行っても、現行の診療報酬体系では「開放型病院共同指導料」（350点）しか算定できず、高安氏は「開業医が病院で行った診療行為が診療報酬体系で十分評価されているとはいえない」と指摘する。

また、紹介に頼る患者の確保は、同クリニックのような専門診療所はまだなじみがなく、高度で専門的な治療は大学病院や国公立病院とのイメージが強いなかでは、決して楽ではない。

IVRという特殊技術の専門性の維持についても、「従来、年3～4回は海外での学会に参加していた。開業したいま、学会などへの参加をどうしたらいいか」。そんなジレンマを抱きつつ、高安氏は主治医として、一貫した治療の実践に向けた強い意欲をみせている。

